

平城宮跡歴史公園第一次大極殿南門復原整備工事記念特別展

「鬼神乱舞—護る・祓う・鬼瓦の世界—」

屋根瓦のうち、神獣や恐ろしいオニの顔が付された「鬼瓦」はもっとも目立つ存在です。邪を祓い、その建物の無事を願って製作されたもので、その願いは古代から現代まで通じるものです。

今回、平城宮第一次大極殿院南門の復原を記念し、古代から近世にいたる鬼瓦の展示会を開催します。飛鳥の寺院や藤原宮、平城宮と平城京の寺院の屋根で睨みをきかせていた鬼瓦たちにくわえ、1400年以上にわたって法灯を保ち、飛鳥時代から現代にいたる各時代の瓦がほぼ一貫して伝来する法隆寺の中近世の鬼瓦も一堂に揃います。飛鳥時代や奈良時代には中国や朝鮮半島から伝わった当時の最新技術を結集して製作されたものの、時代が下るにつれ徐々に日本独自のスタイルで発展を遂げていく様子がみられます。

屋根に上がってしまうとなかなか近くでみることのできない鬼瓦ですが、様々な鬼瓦と向かいあいながらその鬼瓦作りにつけられた情熱や願いに想いを馳せてみませんか。

(都城発掘調査部 岩戸 晶子)

主催：奈良文化財研究所／共催：国土交通省近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

会期：2021年1月23日(土)～3月28日(日)／場所：平城宮いざない館

開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)／休館日：2月8日(月)

ホームページ：<https://www.heijo-park.go.jp> お問い合わせ：☎ 0742-36-8780 (平城宮跡管理センター)



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2020年12月